

北陸新幹線の早期完成・開業に関する

要 望 書

平成26年2月

福 井 県

北陸新幹線の早期完成・開業について

災害に強い国土づくりを進めるためには、東京・大阪間を日本海側でつなぎ、複軸型の国土構造を実現する北陸新幹線の整備促進を最優先すべきプロジェクトとして位置づけ、国土の強靱化を加速させることが重要です。

敦賀開業は、金沢開業から概ね10年強後の平成37年度とされ、認可から14年の工期を要するとされておりますが、完成を急ぎ、北陸地域全体に等しく開業効果を早期に発現させることが求められます。

このため、**与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム**においては**工期短縮の結論を早急に取りまとめ、政府・与党が一体となり整備スキームを速やかに見直し、実行に移さなければなりません。**

つきましては、政府・与党においては、敦賀までの工期短縮に必要な財源を十分確保し、次のことを実現されるよう要望します。

- 1 整備スキームを速やかに見直し、敦賀までの完成・開業を金沢開業から少なくとも8年、さらにこれを短縮して実現すること。**
- 2 敦賀以西については、整備計画どおり若狭ルートの実現に必要な調査を速やかに進め、早期に決定し、大阪までのフル規格による早期全線整備を実現すること。**

平成26年2月4日

福 井 県 知 事 西川 一誠

福 井 県 議 会 議 長 笹岡 一彦

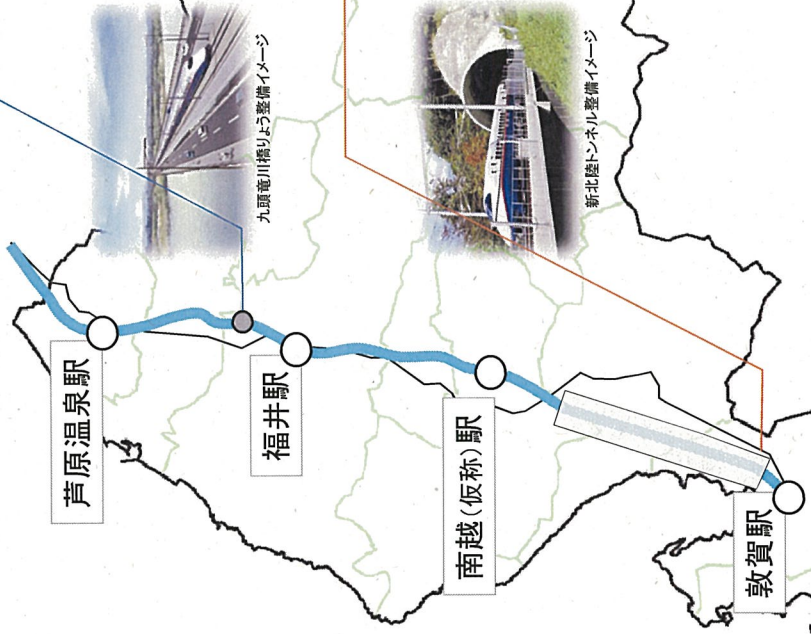
福井県議会北陸新幹線整備促進議員連盟
会 長 山本 文雄

福井県経済団体連合会 会 長 川田 達男

長い工期が必要な箇所でも、金沢開業から8年(平成34年度)までに完成可能 工法工夫すれば、さらに短縮可能

金沢・敦賀間の概要

工事延長 約11.4km
 うち福井県内延長 約7.4km
 明かり区間 約4.1km (用地買収面積: 約75ha)
 トンネル区間 約3.3km (新北陸トンネルほか14箇所)



長大橋りょうの

九頭竜川橋りょう

橋長 410m 県道との一体橋

- ・下部工の完成前でも、並行して上部工を架設する工法の採用
 - ・出水期でも、上部工を架設する工法の採用
- さらに
- ・新幹線・道路一体橋の特性を生かし、上部工を架設する工法の検討

長大トンネルの

新北陸トンネル

延長: 約20km (5工区で想定) 環境影響評価の調査中 (約1.5年)

- ・敦賀出口工区を短くする工区割り(分割施工)
- さらに
- ・完成工区から順次、開業設備工事(線路等)に着手

その他全般

- ・用地取得した箇所から、速やかに高架橋工事に着手
- ・高架橋工事完成箇所から、速やかに開業設備工事(線路等)に着手
- ・敦賀車両基地の早期の用地確保に向けた測量・設計やJR協議の促進